

平成25年度  
十勝シーニックバイウェイ  
”十勝平野・山麓ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート	報告者: 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート 代表 三井 福成	報告年月日: 2014/3/31
--------------------------------	---------------------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観	地域の景観資源を守ろう、活かそう	歴史的な景観資源を発掘し継承する	1	—	—	—	—		花壇整備などを通して、地域間の連携基盤づくりを継続的に進めている。また、シーニックカフェの充実をはかることによりルート内の景観、情報等を情報発信する場が増えた。広域連携として実施している100年の木プロジェクトは、植樹と合わせて維持管理を行うなど美しく新しい景観を創出するため継続的に取り組んでいく。
		十勝の山麓・平野に広がる美しい田園景観を活かす	2	シーニックカフェ	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	平成25年4月～平成26年3月(カフェにより期間異なる)	主催者: 20名程度 カフェ: 6箇所		
	特色溢れる景観を創出しよう	景観の見せ場を創る	3	イエローリボンプロジェクトへの協力	とちあいエローリボンプロジェクト実行委員会	平成25年6月～9月	100名程度		
		沿道を花と緑で彩る	花植え・清掃活動(各町の道路沿道、駅前、公園など)	4	清水町商工会女性部、鹿追町商工会、上士幌町商工会女性部、足寄町地域部会、士幌町商工会	平成25年4月～6月	300名程度		
			北海道ガーデン街道との連携事業: 人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	5	シーニックバイウェイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	平成25年4月～平成26年3月 ※平成25年6月1日植樹祭	主催者: 60名程度 一般参加者: 20名程度		
	沿道景観を取り巻く環境向上に向けた取り組み	道路工作物の景観を整える	6	景観資源と地域資源を守ろう・活かそう ～不用看板の再生～	十勝平野・山麓ルート(景観形成分科会)	平成26年2月(足寄町地域部会で実施)	主催者: 20名程度		
		手入れの行き届いた沿道景観をつくる	7						
地域	地域が一体となった情報発信の検討	広域的な地域情報発信の連携	8	十勝シーニックバイウェイ連携事業: シーニックカフェスタンプラリー	十勝シーニックバイウェイ	平成25年7月1日～平成25年10月30日	応募36人(カフェ15箇所)	平成22年度に作成した「十勝平野・山麓ルートマップ」が各地で高い評価を得ていることから、「自治体区切りではなく広域での情報提供」が有効であることが示唆されたため、今年度はイベントや食、アウトドアなどルートの特性に特化したマップ等を独自で作成するほか、十勝エリア内や大雪エリアとの広域連携を進めるなど、情報発信に努めた。今後も、この種の情報発信を継続的に行うことが重要と考える。	
			9	イベント一覧の作成	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	製作: 平成25年5月～11月	主催20人		A - 1
			10	食とアウトドアマップの作成	十勝平野・山麓ルート(観光振興分科会)	製作: 平成25年8月～平成26年2月	主催20人		
			11	大雪山ぐるっとシーニック観光推進事業	大雪ぐるっと広域連携会議	平成25年4月～平成26年3月	主催20人		A - 2
	地域のシーニック運営への意識を高めよう	持続的なルート運営の為に運営体制の検討	12	—	—	—	—		
地域にシーニックを浸透させよう		13	—	—	—	—			
地域の農・食・産品を繋げて活かそう	地場産品・食をPRする	14	—	—	—	—			
	農業を活かす	15	シーニックカフェ美蔓パノラマパーク(道路敷地の利用)	清水町、清水町観光協会	平成25年7月～8月	主催: 5人程度 一般: 114人	清水町美蔓パノラマパークで実施したシーニックカフェは、体制・天気等の関係から5回の開催となったが、利用者の満足度が高い取組となった。		
	個店を活かす仕組みづくり	16	—	—	—	—			
提案型観光地づくりの検討	野外活動型滞在観光地づくり	17	「馬の道」の活用 ・May Flowae Cop 2013 エンデュランス馬術大会 ・2013春季北海道エンデュランス馬術大会 ・2013秋季北海道エンデュランス馬術大会	各大会実行委員会	平成25年5月25日・26日 平成25年6月22日・23日 平成25年10月5日・6日	各30名程度	「馬の道」の活用については、ルートの独自性において優位な取り組みである。今後も各種大会に利用してもらえるよう継続的に案内看板・休憩箇所の設定などの検討を行ってきたい。		
	健康保養型滞在観光地づくり	18	—	—	—	—			
地域資源の発見と共有に取り組もう	地域資源の発見と共有	19	—	—	—	—			

# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：「イベント一覧」及び「食とアウトドアマップ」の作成

**【概要】** 道東道の開通を機に十勝へのアクセス性が高まった今、地域の魅力を発見、創造していくと同時に、これを発信していく機会、手段を持つことが重要である。平成22年度に作成した「十勝平野・山麓ルートマップ」が各地で高い評価を得ていることから、観光には「自治体区切りではなく広域での情報提供」が必要であると実感した。今年度はイベント、食、アウトドアなどルートの特性に特化したマップ等を作成し、更なる情報発信に努めた。今後も、この種の情報発信を継続的に行うことが重要と考える。

**【日時】** ①イベント一覧 制作期間：平成25年5月～平成25年11月／発行：平成25年11月  
②食とアウトドアマップ 制作期間：平成25年8月～平成26年2月／発行：平成26年2月

**【検討機関】** 観光振興分科会

**【発行】** 部数：①5,000部、②15,000部

配布箇所：ルート内の道の駅、商工会及び観光協会等

**【イベント一覧】**  
サイズ：A3



**【食とアウトドアマップ】**  
サイズ：A4の1/4  
(見開きA3)





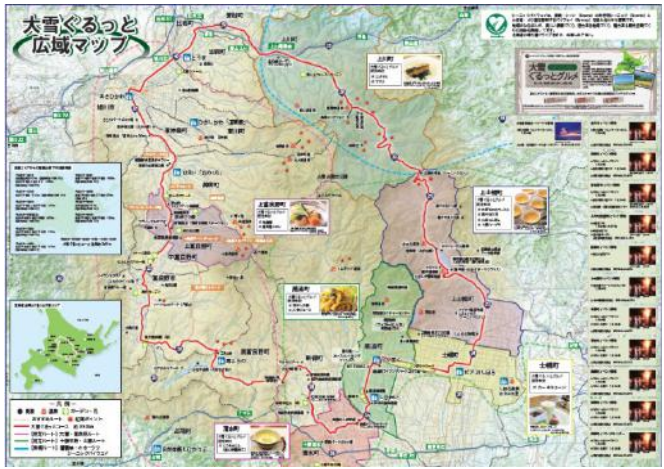
# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：大雪山ぐるっとシーニック観光推進事業

- 【概要】 北海道の屋根として認知度の高い「大雪山」を中心として広域の観光ブランドを創出し、周遊約350kmにおよぶ大雪山周遊観光を提案することで集客を図り大雪山周辺の地域活性化につなげていく。今年度は地域資源の視察等を行い地域の情報を発信する大雪山周辺地域広域マップを作成。また、地域のPRを行うため、ホテルオークラ札幌と連携し、ホテル内の3レストランにて地域食材を活用した特別メニューを提供するグルメフェア『大雪ぐるっとグルメ』を開催(平成25年7月)。
- 【日時】 平成25年4～平成26年3月
- 【場所】 大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート及び上川町のエリア内
- 【主催】 大雪山ぐるっとシーニック観光推進事業検討会

【大雪ぐるっと広域マップ】



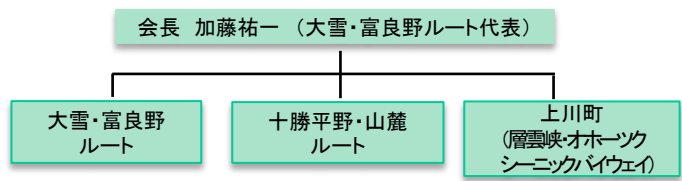
【ホテルオークラ札幌でのPRバナー・ポスター等の作成】



【グルメフェア使用食材】

市町村名	地域使用食材
上富良野町	・地養豚 ・富良野メロン
鹿追町	・切干し大根 ・人参ジュース
上士幌町	・かぼちゃペースト ・黒千石大豆 ・小豆こしあん ・十勝ハーブ牛
士幌町	・カーネルコーン
清水町	・とうもろこし
上川町	・ニジマス ・ヤマメ

【検討会体制】





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2014/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成25年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	特色溢れる景観を創出しよう	とかちイエローリボンプロジェクト	平成25年5月～10月	帯広開発建設部	ひまわり植栽に向けて実施箇所検討及び種植えに積極的に参加した。地域の景観向上のため今後も継続して取り組めるよう検討を行う必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がいつそうたかくなっている。今後も行政とルートの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	3
		人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	平成25年4月～平成26年3月 ※平成25年6月1日植樹祭	自治体 商工会 十勝総合振興局 帯広開発建設部	植樹における植樹箇所及び道路占用許可申請の調整等を行った。また、植樹祭へ参加し本プロジェクトの活動についてPRすることができた。植樹希望箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。		5
観光	地域が一体となった情報発信の検討	十勝シーニックバイウェイPR活動	平成25年8月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		8～11

5. 平成24年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ 十勝平野・山麓ルート	報告者:十勝シーニックバイウエイ 十勝平野・山麓ルート 代表 三井 福成	報告年月:2014/3/31
-------------------------------	--------------------------------------	----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----	-----	

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ 十勝平野・山麓ルート	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2014/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

平成24年度活動報告への助言	平成25年度 状況報告	備考
-----	-----	